

# 第3回 企業部会幹事会

2018年10月29日(月) 14:00～ ホテルニューオータニ[edo ROOM]

Check Point

## 企業部会幹事会とは

「企業部会幹事会」は、一企業や一業界の枠組みを超え、国民的な課題に対して真に議論し、この国をよくしていくという趣旨のもと設立された会です。生団連内の議論を深める場として、消費者部会とも連携を図りながら、今後も継続開催される予定です。

第3回「企業部会幹事会」が開催され、業界団体会員を中心とする企業部会幹事メンバーと代表者出席が叶った役員企業会員有志で、今期の重点課題等について議論が行われました。



▲議事に先立ち、国土館大学・鈴木江理子教授より、「人口減少社会における移民／外国人の受け入れを問う」～「共に生きる」社会の実現に向けて～というタイトルで講話をいただきました。

### 【議事内容】(意見一部抜粋)

#### ■ 議題1・・・「人的鎖国」からの脱却～外国人労働者の受け入れ体制の構築

##### ●「生活者として見る事が重要」

現在、留学生、技能実習生は貴重な戦力となっている。彼らを労働力として見るだけでなく、生活者として見ることは国力の維持という観点から重要。そのためには、なんらかの法整備、厳格な運用が必要だと思う。

##### ●「人権問題についても言及を」

本日の講話を聞いて、社会保障が行き届いていないことや、外国人労働者の子どもたちがいじめに遭っている現実を知った。これは人権の観点からも非常に問題。提言では、こういった現実に起きている問題も明記した方が訴える力があるのではないかと。

#### ■ 議題2・・・240兆円国家財政の見える化を

##### 「提言の方向性に賛成」

財政がわかりにくいから将来が不安になり、消費行動にも影響していると私自身の行動を考えてもそのように思う。会計を一本化して開示することで、状況がわかりやすくなる。状況がわかれば、ではどうすればよいかという議論ができる。そうすれば国民の意識も高まる。それをメディアもしっかり取り上げていけば、様々な問題の議論にもつながっていくのではないかと。

#### ■ 議題3・・・原発問題の論点と課題の整理

##### 「国民運動の展開を」

ここまでの論点・課題の整理はよいと思う。これからどうするかということを生団連では議論してほしい。国民的にも関心が今後高まってくると思う。同調できるような組織等があれば一緒に世論を喚起していくとよいと思う。

#### ■ 議題4・・・「同一労働同一賃金」の進捗状況

##### 「まずは企業内での対応を」

不合理な状況や差別的な状況は改善していかなければならない。待遇差を個人が納得できればよいが、不満を持つ人が多いのが事実。現実的にどう対応していくかは企業内で取り組んでいかなければならない。

